

中学学習指導案 国語科

1. 実施日:5月26日(木)
2. 対象学年:2年3組
3. 場所:2年3組教室
4. 授業者:
5. 単元名:「卒業ホームラン」

6. 教材観

本教材は、主人公の徹夫を中心に「家族」の問題が織り込まれながらも息子の小学校最後の野球の試合をもとに展開されている。「頑張ってもいいことはない」と考える典子、「いいことがあるかもしれないから、頑張る」と考える徹夫、そして「いいことがなくても頑張る」智。二人の子に対して理解できない部分を感じながら、徹夫は父親と監督という二つの立場から悩みを抱えている。その中で、智の「僕、野球が好きだもん」という言葉に見られる純粋な姿勢に、大人になって忘れていた素直な気持ちについて思い出し、救われた思いになる。そして、家族に対しての思いや行動に変化が表れてくるというものになっている。

7. 生徒観

本学級の生徒は本学級の間「辞書に描かれたもの」を通して、行動から心情を考えること、考えを比較しながら相手の立場で考える力を育成している。そこで、今回は立場の比較から人物の心情を考える。また、人物の心情の変化をとらえ、その変化に影響した事柄についても読み取る力を育成していく。

国語に対して、苦手意識をもっていたり、学習意欲が落ちている生徒も見られる。そのような生徒に対して国語を楽しんで学んでもらえるような指導をしていく。

8. 指導観

指導においては、文章を読んで、人物の設定や心情について考えていかせる。また、立場の違いやその伴う考え方の違いや一つの言葉が人の思いの変化や行動の変化につながることにについても指導していく。そして、そこから生徒の経験にも生かせるような指導をしていく。

「学び合い」のある授業にするために、個人思考→集団思考→全体共有の形で授業を進めていく。なお、思考が難しい生徒に対しては思考にあたってヒントとなる個所の提示や実体験との結び付けから考えるような言葉がけをしていく。文を書くのが苦手な生徒に対しては、短い文でもいいから書くことを目的にしていく。

9. 単元目標

知識・技能	○ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くことができる。(1)ア
思考力・判断力・表現力等	○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。C(1)オ
学びに向かう力・人間性	○ 文章を読んで感じたことや思い、考えを伝え合おうとする。

10. 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
○ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くことができている。	○ 立場の違いによる心情の変化を読み取ることができる。(D 読むこと)	○ これまでの学習や知識、経験と結び付けて考えたり、思いや考えを伝えようとしている。
○ 場面に応じて、的確に内容をとらえることができる。	○ 相手に伝えることを意識して、自分の意見や考えを書くことができる。(B 書くこと)	○ 自分の思いや考えを書こうとしている。

8. 授業展開(全4時間)

	学習活動(○)	評価(●)	指導上の留意点(◇)
1	○ 本時の活動の確認(3分) ○ 朗読(35分) ○ 初読の感想を書く(7分) (100~150字)	● 自分の思いや考えを書こうとしている。(学びに向かう力・人間性)	◇ 初読の感想を書いてもらうことを伝える。 朗読を聞く際に、事前に着目して欲しい観点を伝えておく。 (家族構成、場面の移り変わり、気になる点など)
2	○ 前時の振り返り(5分) → 前時に書いてもらった初読の感想の中から本単元で取り扱う課題につながるものを抜粋して紹介する。 ○ 本時の目標の確認(2分) 「文章を読んで人物・場面把握		

	<p>をしよう。」</p> <p>○ 登場人物の整理(8分) → 4人の登場人物について確認する。</p> <p>○ 段落の把握(30分) → 段落ごとにタイトルを考えてる。</p>	<p>● 場面に応じて,的確に内容をとらえることができる。(知識・技能)</p> <p>● 自分の思いや考えを書こうとしている。(学びに向かう力・人間性)</p>	<p>◇ 穴埋めプリント,ワークシートを使う。</p> <p>◇ タイトルには字数制限を設ける。</p> <p>◇ タイトルが思いつかない生徒に対しては自分の気に入っている個所や表現を見つけることでタイトルに結び付けさせる。</p>
3	本時の展開を参照		
4	<p>○ 前時の復習(3分)</p> <p>○ 本時の目標の確認(2分) 「筆者にとって家族とはどのような存在なのかを考えよう。」</p> <p>○ 試合前と試合後の家族だけの場面になった際の徹夫の典子への心情を考えさせる。(3分)</p> <p>○ 変化することになったきっかけと理由を考えさせる。(12分)</p> <p>○ 家族のつながりを考える。(15分)</p> <p>○ 筆者にとって家族とはどのような存在なのかを考えさせる。</p>	<p>● 言葉には,相手の行動を促す働きがあることに気付くことができる。(知識・技能)</p> <p>● 相手に伝えることを意識して,自分の意見や考えを書くことができる。(B書くこと)</p>	<p>◇ ワークシートを用いる。</p> <p>◇ 時間的に厳しい場合は文字数を減らす。</p>

9. 本時の展開(全4時間中 3 時間目)

①本時の目標

- ・立場の違いによる心情の変化を読み取ることができる。(D 読むこと)
- ・相手に伝えることを意識して、自分の意見や考えを書くことができる。(B 書くこと)

②本時の展開

	学習活動(○)	評価(●)・評価方法(△)	指導上の留意点(◇)
導入	○ 前時の振り返り(3分) 前時で、人物整理をした際に、徹夫が父親と監督の二つの立場があったことに触れる。		◇ 前時に作り上げたプリントを見るように声を掛ける。
展開	○ 本時の目標の確認(2分) 「徹夫の二つの立場の違いを理解しよう。」 ○ 三つの場面から立場の違いを考える(24分) ① 山本君の父、実島君の母から電話を受けた時 → 父:気持ちもわからなくない。 監督:ふざけるな。 ② メンバー選考の際 → 父:息子である智を出してやりたい。 監督:チームを勝利に導くためにはメンバーから外さなければならない。 ③ 試合に完敗し、今日なら出せると思ったとき → 父:この監督のことを一生許せない。	● 立場の違いによる心情の変化を読み取ることができる。(思考力・判断力・表現力等 D 読むこと) △ ワークシート	◇ 個人思考→集団思考→全体共有をとる。 ◇ 考える場面に線を引かせる。そして、その前後にヒントが隠されていることを教える。

	<p>監督:後悔はない。勝つためにベストを尽くした。</p> <p>○ 三つの場面を通して、徹夫がどのような思いで行動していたのかを考える。(5分)</p> <p>→「徹夫は葛藤を抱えながら、智や典子に接していた。</p>		
まとめ	<p>○ 徹夫のような立場に自分がなった時どのような考えを持つかを書く。(10分)</p> <p>→①～③の中から場面を選ばせ、二つの立場から自分ならどのような選択をするかを理由を含め、書く。</p>	<p>● 相手に伝えることを意識して、自分の意見や考えを書くことができる。(思考力・判断力・表現力等 B 書くこと)</p> <p>△ ワークシート</p>	<p>◇ 意見を書けない生徒に対しては、各自の体験談を引き出したりするような声掛けをする。</p>

10.準備物

・ワークシート

卒業ホームラン ③

() (組) (番) ()

本時の目標：

○三つの場面においての違いを考えよう。

- ① 山本君の父、実島君の母から電話を受けた時
- ② メンバー選考の際
- ③ 試合に完敗し、今日なら出せると思ったとき

父親の立場

①

②

③

監督の立場

①

②

③

○徹夫の立場に自分がたたされた時どうする？

() () (①) (③)のどれかを選んで書いてみよう。()

卒業ホームラン

重松 清

◎徹夫の二つの立場の違いについて理解しよう。

父親

① 気持ちもわからなくない。

監督

① ぶざけるな。

② 息子を試合に出したい。

② チームを勝利に導く
ためにはメンバー
から外さなければ
ならない。

葛藤

③ この監督のことを一生許せない

③ 後悔はない。
ベストを尽くした

● 徹夫は葛藤を抱えながら、典子や智に接していた。